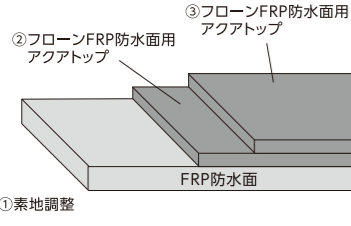
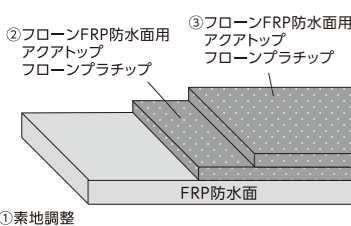
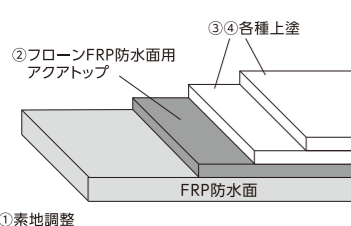


## 標準工法

工法名	工程	材料名	使用量 (kg/m <sup>2</sup> )	上塗可能時間 (23℃)	備考
<b>&lt;平滑仕様&gt;</b> 	1	FRP防水面 素地調整	—	—	①下地のゴミ、ホコリ、コケ等を高圧水洗(10~15MPa)で取り除き、十分に乾燥させて下さい。 ②サンドペーパー(#60~#100)、マジックロン(#40~#80)でFRP防水面を研磨し、研磨粉を清掃して除去して下さい。 ③アセトン拭きで残った研磨粉とワックス成分を除去して下さい。
	2	フローンFRP防水面用アクアトップ	0.15	2~72時間	原液のまま、中毛ローラー、ハケにて塗布
	3	フローンFRP防水面用アクアトップ	0.15	—	原液のまま、中毛ローラー、ハケにて塗布
<b>&lt;ブラチップ仕上&gt;</b> 	1	FRP防水面 素地調整	—	—	①下地のゴミ、ホコリ、コケ等を高圧水洗(10~15MPa)で取り除き、十分に乾燥させて下さい。 ②サンドペーパー(#60~#100)、マジックロン(#40~#80)でFRP防水面を研磨し、研磨粉を清掃して除去して下さい。 ③アセトン拭きで残った研磨粉とワックス成分を除去して下さい。
	2	フローンFRP防水面用アクアトップ フローンブラチップ	0.15 0.0075	2~72時間	フローンFRP防水面用アクアトップに対し、フローンブラチップを5%(重量比)計量、混合し、電動攪拌機で十分に攪拌後、中毛ローラー、ハケにて塗布。
	3	フローンFRP防水面用アクアトップ フローンブラチップ	0.15 0.0075	—	フローンFRP防水面用アクアトップに対し、フローンブラチップを5%(重量比)計量、混合し、電動攪拌機で十分に攪拌後、中毛ローラー、ハケにて塗布。
<b>&lt;水性プライマー仕様&gt;</b> 	1	FRP防水面 素地調整	—	—	①下地のゴミ、ホコリ、コケ等を高圧水洗(10~15MPa)で取り除き、十分に乾燥させて下さい。 ②サンドペーパー(#60~#100)、マジックロン(#40~#80)でFRP防水面を研磨し、研磨粉を清掃して除去して下さい。 ③アセトン拭きで残った研磨粉とワックス成分を除去して下さい。
	2	フローンFRP防水面用アクアトップ	0.15	2~72時間	原液のまま、中毛ローラー、ハケにて塗布
	3	各種上塗 (上塗可能製品参照)	各製品の仕様に従って下さい。 ご使用の際は必ず各カタログをご参照下さい。		
	4	各種上塗 (上塗可能製品参照)			

## 施工上の注意

### 塗装環境

1. 密着不良、ひび割れ、仕上がり不良の原因となりますので、気温5℃以下、湿度80%以上での施工は避けて下さい。
2. 塗装後翌日までに降雨、降雪等の心配がある場合は、施工を避けて下さい。
3. 冬期の施工は夜露、結露の発生が考えられます。午後4時以降の作業は避けて下さい。
4. 夜露、高湿度等で被塗物が結露している場合は、ウエス等で拭き取り、十分に乾燥させてから塗装して下さい。密着不良の原因となります。

### 下地調整

5. 旧塗膜の密着不良部、表面の油分、ゴミ、ホコリ、コケ等を高圧水洗(10~15MPa)にて取り除いて下さい。
6. 高圧水洗で落とすきれない旧塗膜の密着不良部は電動工具、手動工具を用いて劣化した塗膜を除去し、研磨粉を除去して下さい。
7. 水洗後や降雨、降雪後は十分に下地を乾燥させて下さい。
8. 油脂分などの付着物は、アセトンで拭き取り、清浄な面にして下さい。
9. 素地調整は、耐久性を高める重要な工程となりますので、入念に処理して下さい。
10. FRP防水面に割れ、ハガレ等が発生している場合は、上塗りのフクレ・破断の恐れがある為、施工は避けて下さい。
11. 事前に塗膜の種類・状態を確認し、密着性の確認を行って下さい。

### 養生

12. 塗装時の塗料の飛散に十分に注意して下さい。付近の建物、自動車等はあらかじめ養生して下さい。
13. 飛散した塗料が自動車、ガラス、アルミサッシ等に付着した場合は、すぐにウエス等で拭き取って下さい。特に自動車に付着した場合は、直ちに水洗いして下さい。
14. 塗装後の乾燥過程での水分(降雨、エアコン室外機排水等)は避けて下さい。

### 塗装

15. 入隅や継ぎ目、凸部等は塗膜が薄くなりやすい為、事前に拾い塗りを行って下さい。
16. 塗料の標準使用量及び塗り回数は、下地の形状や素地の劣化度合いにより増減する場合があります。
17. 塗料は、ご使用前に十分に攪拌してから塗装して下さい。
18. 標準使用量、塗装間隔及び規定塗り回数を厳守し、一度に厚塗りしないで下さい。標準使用量、塗装間隔及び規定塗り回数で仕上げる方が、塗り上がり、耐久性ともに向上します。
19. 動植物に影響を及ぼす可能性がありますので、施工時及び施工後の換気を充分に行って下さい。

### 保管

20. 塗料を保管する場合には必ず直射日光の当たらない、湿気の少ない屋内に保管して下さい。
21. 塗料・塗料容器、塗装具を廃棄する時は産業廃棄物として処理して下さい。容器、塗装具などを洗浄した廃液は、そのまま地面や排水溝に流すと環境に影響を及ぼす恐れがありますので排水処理場などの施設に持ち込むか産業廃棄物処理業者に委託して処理して下さい。

※取扱い上の注意については、容器に表示された注意事項をご参照下さい。

### 業務用

#### 【注意事項】

1. 取扱いについては、容器に表示された注意事項を守って下さい。
  2. アレルギー性等の特異体質、皮膚過敏症や呼吸器系疾患を有する人は、取扱いを避けて下さい。(呼吸困難や喘息を引き起こす恐れがあります。)
- ※詳細な内容が必要な場合は、安全データシート(SDS)をご参照下さい。  
※SDSは弊社HPにて閲覧、ダウンロードしていただけます。トップページから製品情報のページにアクセスし、各種SDS一覧をご参照下さい。

●お問い合わせは・・・

## 東日本塗料株式会社



本社 / 〒124-0006 東京都葛飾区堀切3-25-18 TEL.03(3693)0851(代) FAX.03(3697)2306  
 埼玉工場 / 〒347-0017 埼玉県加須市南篠崎1-13 TEL.0480(65)1515(代) FAX.0480(65)1518  
 仙台営業所 / 〒983-0045 仙台市宮城野区宮城野1-4-20 TEL.022(291)7372(代) FAX.022(291)7320  
 新潟営業所 / 〒950-0871 新潟市東区山木戸3-7-9 TEL.025(273)5749(代) FAX.025(274)6730  
 静岡営業所 / 〒422-8037 静岡市駿河区下島128-1 TEL.054(238)8061(代) FAX.054(238)8063

URL <https://www.hnt-net.co.jp> CATALOG NO.4 '24.05.3000



※製品改良のため、予告なく仕様、性能、カタログ内容を変更する場合があります。  
 ※諸官公庁等の特記仕様がある場合には、それを最優先して下さい。  
 ※このカタログは植物油インキを使用し、環境保全や大気汚染の低減に貢献しています。  
 ※本書に収録したものの一部または全部の無断複製、転載を禁じます。

HIGASHI NIPPON PAINT PRODUCTS

厚生労働省指針13物質  
 文部科学省基準6物質  
**非配合**

F★★★★

無鉛

艶消

1液

水性

# 1液水性アクリルウレタントップコート フローンFRP防水面用 アクアトップ

東日本塗料

1液水性アクリルウレタントップコート

# フローンFRP防水面用 アクアトップ

## ◆ 特長

全てがSDGsを意識した製品です!

**時短!**

2時間で乾く!(23℃)  
プライマーが不要!

**コスト  
ダウン!**

たったの2工程だから  
材料費・人件費が  
抑えられる!

**環境に  
やさしい!**

1液水性タイプで  
F★★★★準拠  
(ホルムアルデヒド放散等級)

## ◆ 用途

- ・ベランダ、ルーフバルコニーのFRP防水面の塗替えに!
- ・FRP防水面の水性プライマーがわりにも使用可能!(上塗可能製品参照)



before

after

## ◆ 下地処理方法



①FRP防水面を研磨します。

②研磨で発生した粉じんを取り除き、アセトンで全体を拭き取ります。

③フローンFRP防水面用アクアトップを塗布します。

※旧塗膜が水性アクリル系塗料、水性アクリルウレタン系塗料の場合はアセトン拭きの工程を省略し、粉じんを水拭きで取り除き、よく乾燥させてから施工して下さい。

必要な塗料や道具類 (一般的な戸建住宅のベランダ塗替えの場合 バルコニー5㎡)



【塗料】  
フローンFRP防水面用アクアトップ 4kg 1缶

【施工に必要なもの】  
〈下地処理用〉  
研磨するもの(サンドペーパー等)、布ウエス、清掃道具(洗浄用アセトン)

〈塗装用〉  
中毛ローラー、ローラー用ハンドル、筋違ハケ、塗料を入れる容器(バケツ)

【日程の目安】  
1~2日程度(晴天で23℃の場合)

## ◆ 製品仕様

品名	色相	容量・荷姿	標準塗布量	塗装面積
フローンFRP防水面用アクアトップ	A-4 フォックスグレー	12kg・石油缶	0.15~0.2kg/㎡×2回塗り	30㎡~40㎡
		4kg・丸缶		10㎡~13㎡

同一製品でも生産ロットが異なると、常備色・調色品共に色が異なる場合があります。特に、材料追加注文などで異なるロットの製品を塗り継ぎした場合、仕上りに支障をきたす可能性がありますので、施工の際は、同一ロット、同一方法で、見切りの良いところまで仕上げして下さい。

## ◆ 荷姿



## ◆ 仕上イメージ



平滑仕様

ブラチップ仕上

## ◆ 下地に対する密着性

下地の種類	密着性
FRP防水面	○
水性アクリル系塗料	○
水性アクリルウレタン系塗料	○
溶剤系アクリルウレタン系塗料	○

## ◆ 上塗可能製品

商品名	光沢	上塗適正
シートトップ#100・#200	艶消	○
遮熱シートトップ100・200	艶消	○
エコトップ	艶有	○
エコトップ遮熱	艶有	○

## ◆ 性状・物性

試験項目	試験結果	試験条件
外観	グレー色粘稠液	
粘度	5,000 mPa·s	B型粘度計 23℃
引っかき硬度	2B	JIS K 5600 鉛筆法
鏡面光沢度	10	JIS K 5600 入射角60度
耐候性	異常なし	サンシャインカーボン ウェザーメーター 1500時間
ホルムアルデヒド放散等級	F☆☆☆☆	JIS K 5601-4-1

## ◆ 乾燥性

試験項目	気温・時間		
	10℃	23℃	30℃
上塗可能時間	4~72時間	2~72時間	1~72時間
歩行可能時間	4時間	2時間	1時間

※施工環境により乾燥時間は前後します。